**研究概要作成上の注意**（様式）

奈良女子大学　男女共同参画推進機構　キャリア開発支援本部

**「研究概要」作成の手順**―キャリア開発支援本部のコーディネーターに応募の意思を伝えたら

1.　インターンシップへの応募の意思と、研究概要が必要であることを指導教員に伝える。

2.　自分自身の研究内容について、公表を控える部分の有無と、あれば内容について確認する。

3.　研究概要作成後、キャリア開発支援本部で非専門家の目線での文章チェックを受ける。

4.　指導教員に確認、修正してもらう。

**記入上の注意1.研究の背景と目的（または「研究に取り組んだ経緯と目的」どちらかひとつ）**

　この欄はあなたの研究分野の専門家でない人にも、その研究の位置づけや意義を理解してもらうために重要な部分です。あなたの研究への理解度や熱意を伝えるために、今後も様々な場面で用いられることになりますので、自分の研究を客観的に捉えて説明する文章にしましょう。

　「研究の背景と目的」という見出しで書く場合は、物質名、実験手法、解析法等の専門用語等を使う時には、単独で用いずに、「○○の一種である××」「○○を構成する△△の中でも最も～～な××」というふうに解説するフレーズが添えられると、専門家以外の人にも理解しやすくなります。また、「～～のメカニズムを解明することで～～の研究が進展する可能性がある」「～～の開発につながると期待される」など、研究の目的や意義を盛り込むようにしましょう。

　「研究に取り組んだ経緯と目的」という見出しで書く際には、自分自身の研究への興味を軸に、研究室を選んだ理由やなぜその研究を自分のテーマとしたかも書いてください。あなたの研究に対する価値観（何を重視しているか）を伝えることができます。

**記入上の注意2.　研究内容**

研究方法、結果、考察といった研究内容は大学（研究者）にとっては、**重要な知的財産**のひとつで、公表のタイミングは十分に考慮する必要があります。外部に出す内容については、指導教員の許可が必要です。ここに書いて企業に提出することも、外部に出すことにあたります。特に印刷物となっていない段階で、実験方法の詳細や結果（数値やグラフ等）を記載することについては見送るか、指導教員と相談してください。

　「応募して審査を通過してから先生に報告、相談したい」と考える方もいるかもしれませんが、先生との信頼関係を築くためにも早めに相談するように心がけてください。

**記入上の注意3.　学業・研究を通じて得られたスキルや経験**

・プログラム言語（C、C++、python、他）、統計、解析、画像処理等で用いたソフトウェアなど。

・使用頻度が高く熟練している分析装置や解析装置、実験機器等の名称と使用目的

・そのほか、アピールしたいもの（学会発表、留学、受賞等の経験）

取り扱い注意

記入日　　年　月　日

**研究概要**

研究テーマ

奈良女子大学大学院 人間文化研究科 博士●期課程

●●学専攻 ●●コース ●回生 名前

**研究の背景と目的（または「研究に取り組んだ経緯と目的」：どちらか一つ選ぶ）**

（分量のバランスは適宜変更してください。

見出しとしている項目も変更して構いません。

ただし、見出しが全くない文章は読みにくいので、

適当な見出しを入れることをお勧めします。）

**研究内容**

**今後の展望及び計画**

**学業・研究を通じて得られたスキルや経験**

**参考文献（省略しても可）**